



人と医療の
より良い未来を創造する

エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電 — 事業概要と中期経営計画 —

日本光電工業株式会社

(証券コード:6849)

2022年3月3日

代表取締役社長執行役員

荻野 博一



本日の内容

1 会社概要・日本光電の歩み

2 日本光電の成長戦略

3 株主様への還元について

4 質疑応答

1

会社概要・日本光電の歩み

日本光電ってどんな会社？

日本光電は医療機器メーカーです

集中治療室 病棟



生体情報モニタ

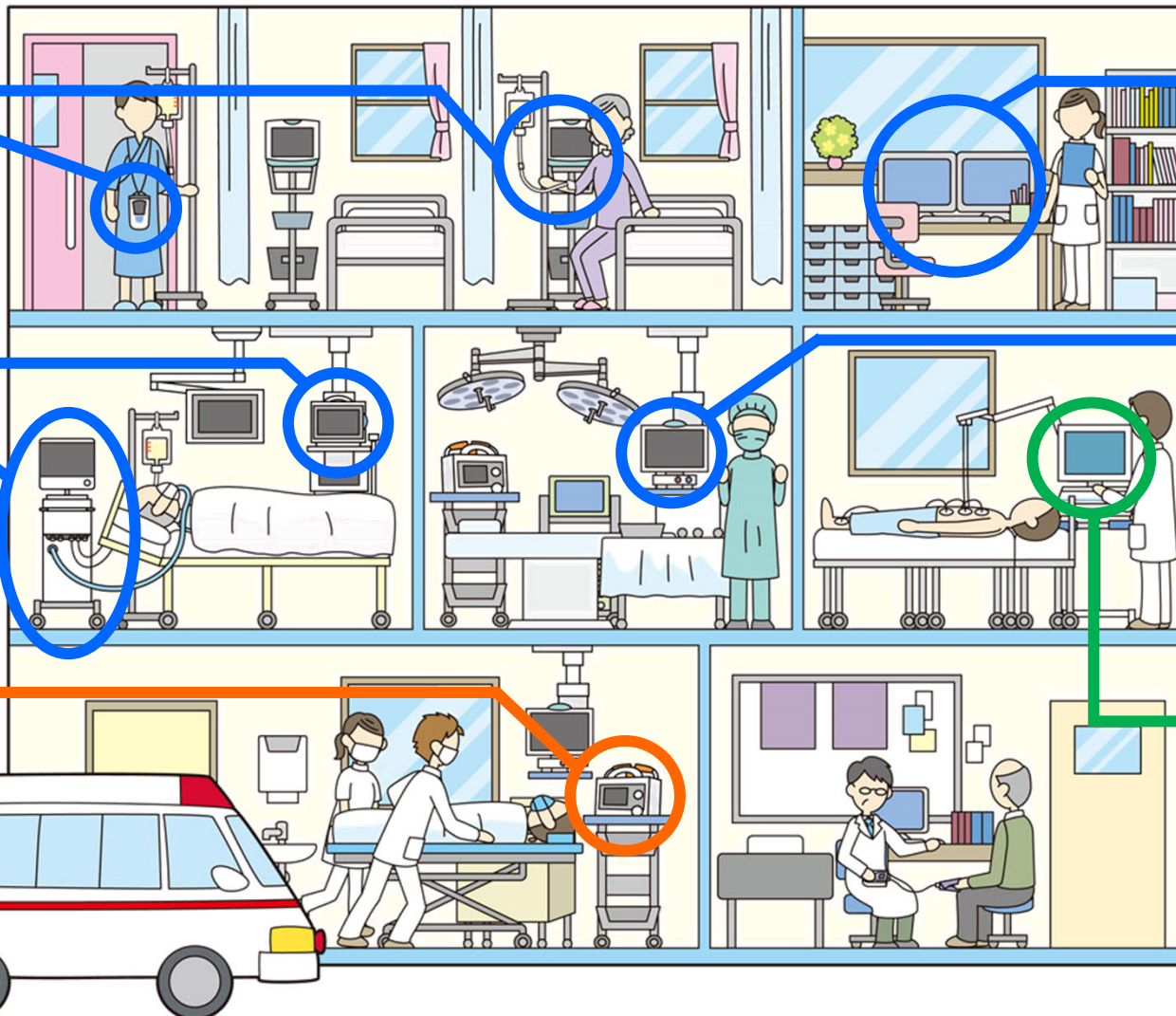


人工呼吸器

救命救急室



AED 除細動器



ナースステーション



生体情報モニタ

手術室



生体情報モニタ

検査室



心電計 脳波計 血球計数器



会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

設立

1951年8月

本社

東京都新宿区西落合1-31-4

資本金

75億4千4百万円 (2021年3月31日現在)

従業員数

連結5,531名 (2021年3月31日現在)

国内3,955名、海外1,576名

上場取引所

東証第一部 【証券コード:6849】

富岡から世界へ – 世界120ヵ国以上へ輸出 –

上海光電 (中国)



新興国市場向け製品を生産

日本光電オレンジメッド (アメリカ)



人工呼吸器の開発・生産

日本光電マレーシア (マレーシア)



SVM-7500

新興国市場向け
生体情報モニタ
を生産

富岡生産センター (群馬)



当社医療機器の85%を
生産するマザー工場

デフィブテック (アメリカ)



AEDの開発・生産

経営理念

**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野 義夫

**「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」**

「病を癒す…

それは、主義や国境を越えるもの。

どんなに情熱を注ぎ込んでも悔いはない。」

最初は脳波計

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

現在

世界的な脳波計メーカー

世界中の研修医を受け入れる
米国トップクラスの病院が当社の
脳波計を使用



第4位: ジョーンズ・ホプキンス



第7位: クリーブランド クリニック

※全米病院ランキング

神経内科・脳神経外科部門 (2021-2022年)

強みはセンサ技術

コア技術 ヒューマン・マシン・インターフェース (HMI)

- ✓ 患者さんに優しいセンサの開発
- ✓ 医療に有用なパラメータの創造
- ✓ 医療機器の小型・軽量化、省電力化

1974年 パルスオキシメータの原理を世界で初めて開発

||

指先にセンサをはめるだけで

血液中の酸素飽和度 (SpO₂) を測定

- ・痛みがない
- ・連続して測定可能

SpO₂



医療現場での世界標準に

※ ヒューマン・マシン・インターフェース(HMI): 人間と機械との接点。当社の場合、センサ技術、信号処理技術、データ解析技術の総称。

パルスオキシメータの原理を開発

2020年

当社の技術者 故 青柳卓雄 工学博士が
「米国麻酔科学会 栄誉賞」を受賞



工学博士 青柳 卓雄



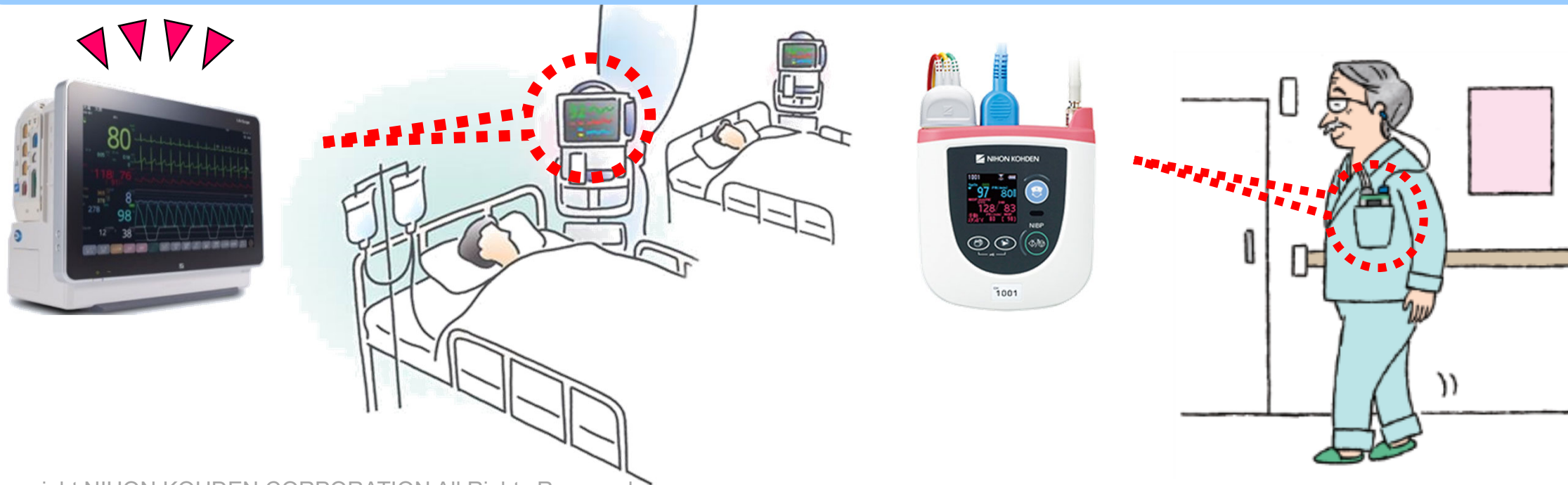
「パルスオキシメータの開発と実用化」
により「第4回日本医療研究開発大賞
／内閣総理大臣賞」を受賞



主要製品① 生体情報モニタ

患者さんを見守る役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。
血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ



生体情報モニタの特長

医療の安全に貢献



「鳴り過ぎない」「見やすい」アラーム

高
↑重要度
↓低



緊急度に応じた
色分け

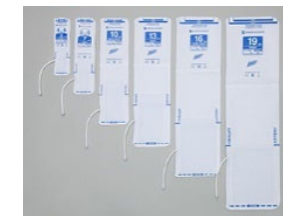
速くてやさしい血圧測定



- ・カフを加圧している間に血圧測定
- ・「痛くない」「速くわかる」



ヤワラカフ2



ディスポカフ



送信機 ZS-640P

※iNIBP: Non Invasive Blood Pressure (非観血血圧)

主要製品② AED(自動体外式除細動器)

国内唯一のAEDメーカー

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



2004年7月から一般市民も使用できるようになり、様々な施設への導入が進んでいます



♥ 全国でAED講習会を実施



♥ 東京マラソン2021をAEDでサポート



主要製品③ 人工呼吸器

COVID-19の感染拡大により世界中で需要が増加

重症患者さん向け

気管挿管型



人工呼吸器
NKV-550

- 優れた肺保護換気機能
- 医療従事者の感染リスクを低減



Protective Control™

軽症・中等症患者さん向け

マスク型



人工呼吸器
NKV-330

- ハイフロー酸素療法の提供
- フィット性の高いマスク



医療機器メーカーとしての使命を果たすため
感染予防対策を徹底しながら世界各国に供給を継続

国内市場で高いシェアを獲得



プレホスピタル
(救急医療)

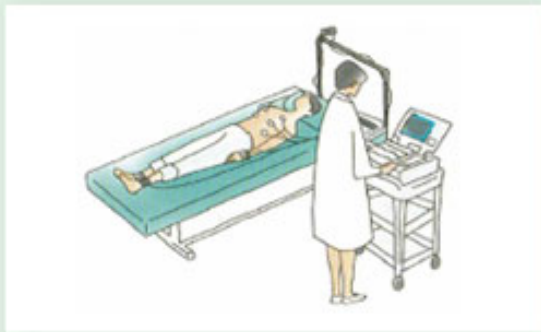
AED

除細動器



国内シェア
No.1

国内シェア
No.1



検査室

脳波計

心電計



国内シェア
No.1

国内シェア
No.2



手術室

病棟

生体情報モニタ 人工呼吸器

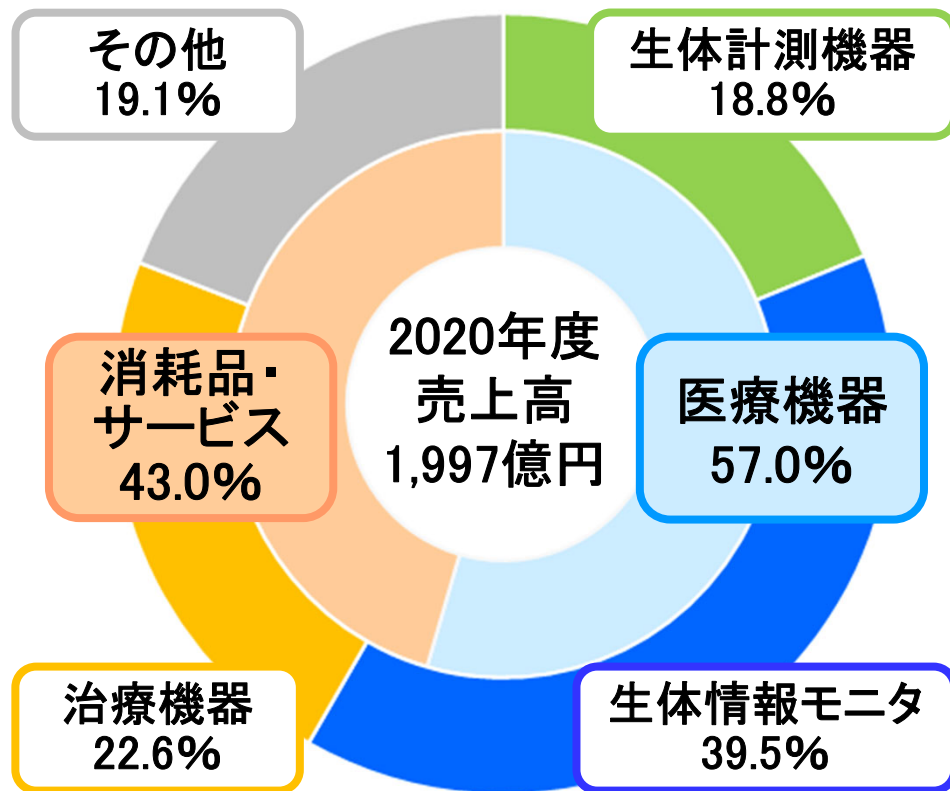


国内シェア
No.1

国内シェア
No.1

安定した収益基盤

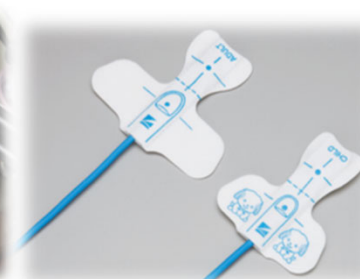
- ✓ 医療機器を用いた検査・治療に必要な**消耗品**
- ✓ 医療機器の安全な使用に不可欠な**設置工事・保守サービス**



消耗品も自社で開発・生産



心電図電極

SpO₂センサCO₂センサ

AED用電極パッド

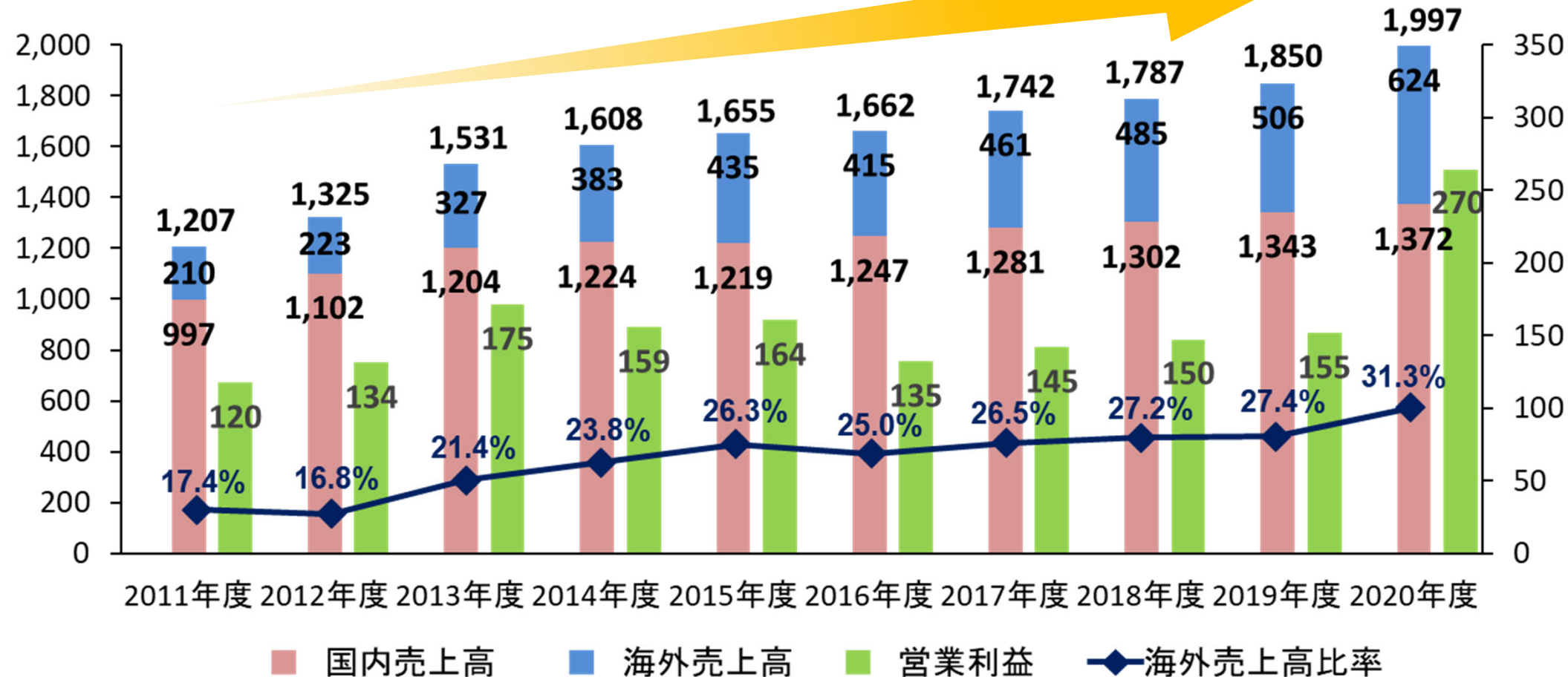


試薬

業績推移

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



ROE	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	(年度)
	11.7%	12.7%	15.0%	11.9%	10.7%	9.1%	8.6%	9.9%	8.3%	14.0%	



2

日本光電の成長戦略

日本光電を取り巻く環境変化

COVID-19の
感染拡大

- + 医療提供体制の重要性を再認識
- 医療従事者の感染・負荷が増大、
病院の経営悪化が課題

医療のDXの加速
テレメディスン、遠隔ICU等



新規参入の激化



サイバーセキュリティなど
法規制の厳格化



長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

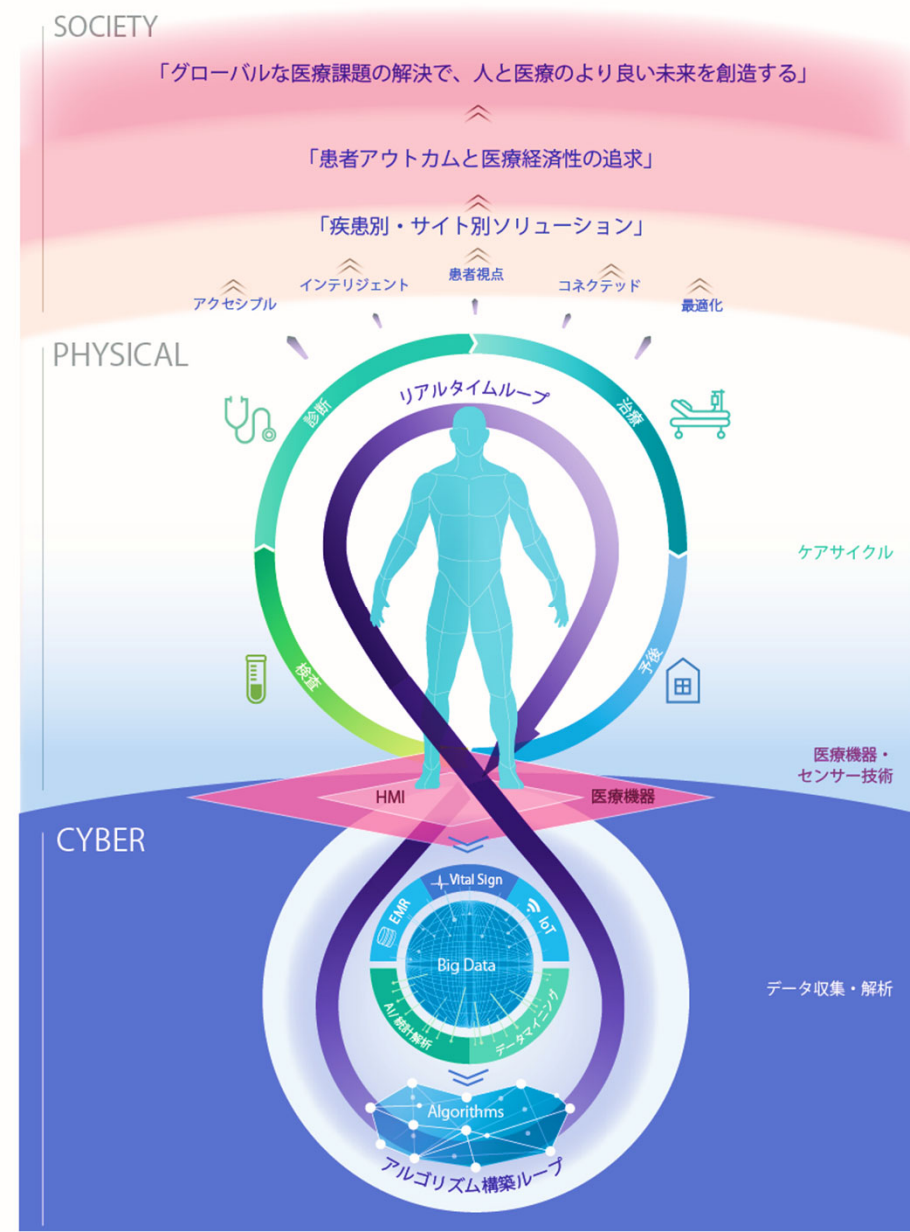
2030年に向けた価値創造モデル

2030 VALUE CREATION COMPASS

価値共創の羅針盤

日本光電は、医療現場と向き合うことで潜在的な課題を見出し、長年培ってきた独自技術と知見、そして最先端の技術を融合することで課題解決に資する価値あるソリューションを世界中のパートナーとともに創造し続けます。

価値共創の羅針盤は、2030年までに日本光電が目指す新たな価値創造モデルです。



長期ビジョン実現に向けた3つの変革

1 グローバルな高付加価値企業への変革

- ・ 海外事業の高成長と収益性向上を主軸とした事業戦略の推進
- ・ 国内事業における価値提案の高度化および新規事業の育成
- ・ グローバルな事業基盤を活用した新たなビジネスモデルの創出

2 顧客価値を追求するソリューション型事業への変革

- ・ 医療の課題を解決するビジネスモデルへの変革
- ・ HMIを核としてデータから価値を生み出す価値創造モデルの実現

3 オペレーショナルエクセレンスを軸とするグローバル組織への変革

- ・ 全社戦略に基づく組織体制およびガバナンス体制の確立
- ・ グローバルサプライチェーンマネジメントを軸とする開発・生産・販売体制の確立
- ・ 重要な組織機能の集約化(COE:Center of Excellence)による、グローバルな事業展開力の強化

中期経営計画＜基盤の強化＞（2021/4-2024/3）

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

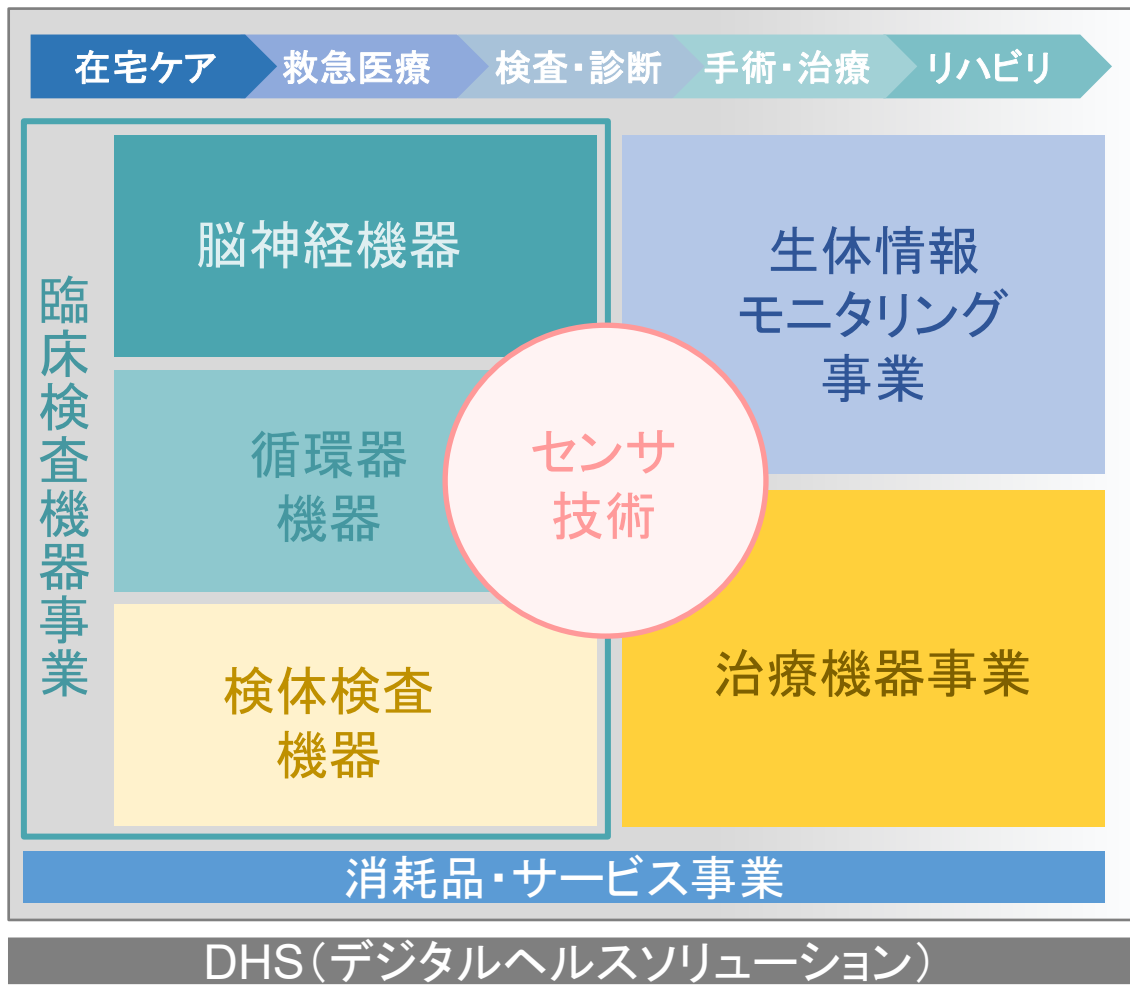
事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。

① 既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

① 既存事業における収益性の改善

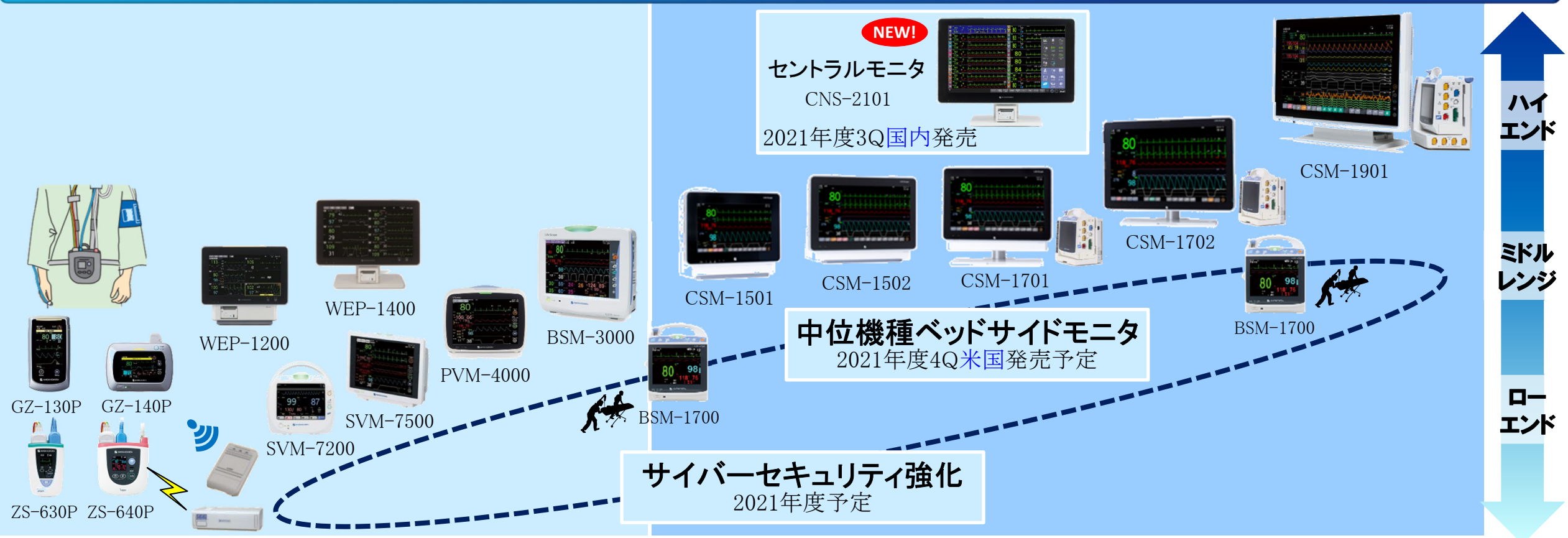
生体情報モニタリング事業

✓ 製品ラインアップの拡充、機能強化による顧客価値提案の推進

一般病棟

ICU

手術室



① 既存事業における収益性の改善

生体情報モニタリング事業

✓ コア技術の融合によりモニタの機能を拡張、高付加価値化

モニタで初 ポイント・オブ・ケア超音波

救急での迅速な超音波検査をサポート



筋弛緩モニタリング

手術前後の安全な麻酔管理をサポート

- ✓ 筋電図計測技術を筋弛緩モニタリングに応用
- ✓ 簡単装着でスピーディに測定開始



医療安全のため需要が増加 → 生産を強化

② グローバル事業における戦略強化

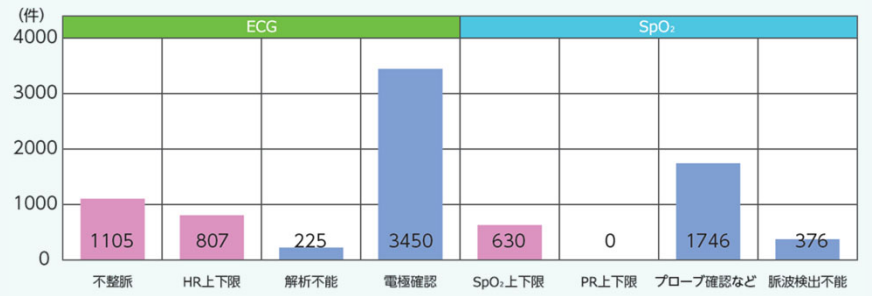
日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 | 診療実績 | 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充



生体情報モニタの アラームレポートを提供



アラームデータを収集・分析し、
数値・グラフで運用改善を提案

▶ 医療安全 | 業務効率
の改善を支援

② グローバル事業における戦略強化

米国：子会社6社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

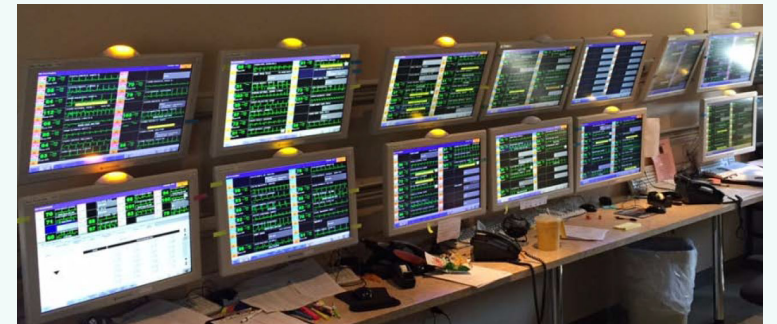
- ✓ 製品ラインアップの拡充



中位機種ベッドサイドモニタ
2021年度下期発売予定

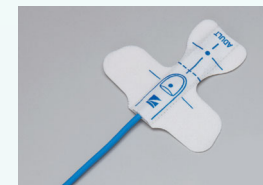
CSM-1500/
1700シリーズ

- ✓ 大規模ネットワークに対応したモニタリングソリューションの提案を強化



War Room

- ✓ 消耗品・サービス事業の拡大



SpO₂プローブ



NEW! 2021年度発売



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

② グローバル事業における戦略強化

新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

ハイエンド市場向け

除細動器



ベッドサイドモニタ



人工呼吸器



中国・中南米 AED市場の拡大

- ✓ 公共施設へのAED設置が拡大
- ✓ AEDの普及啓発、講習会に注力

上海製品

現地開発・生産

ミドル&ローエンド市場向け

心電計

NEW!



2020年度発売

新機種

2022年度
発売予定

スポットチェック モニタ



ベッドサイドモニタ

NEW!



2021年度発売

NEW!

検体自動搬送システム



中国市場向け 2021年度発売

除細動器



AED



血球計数器

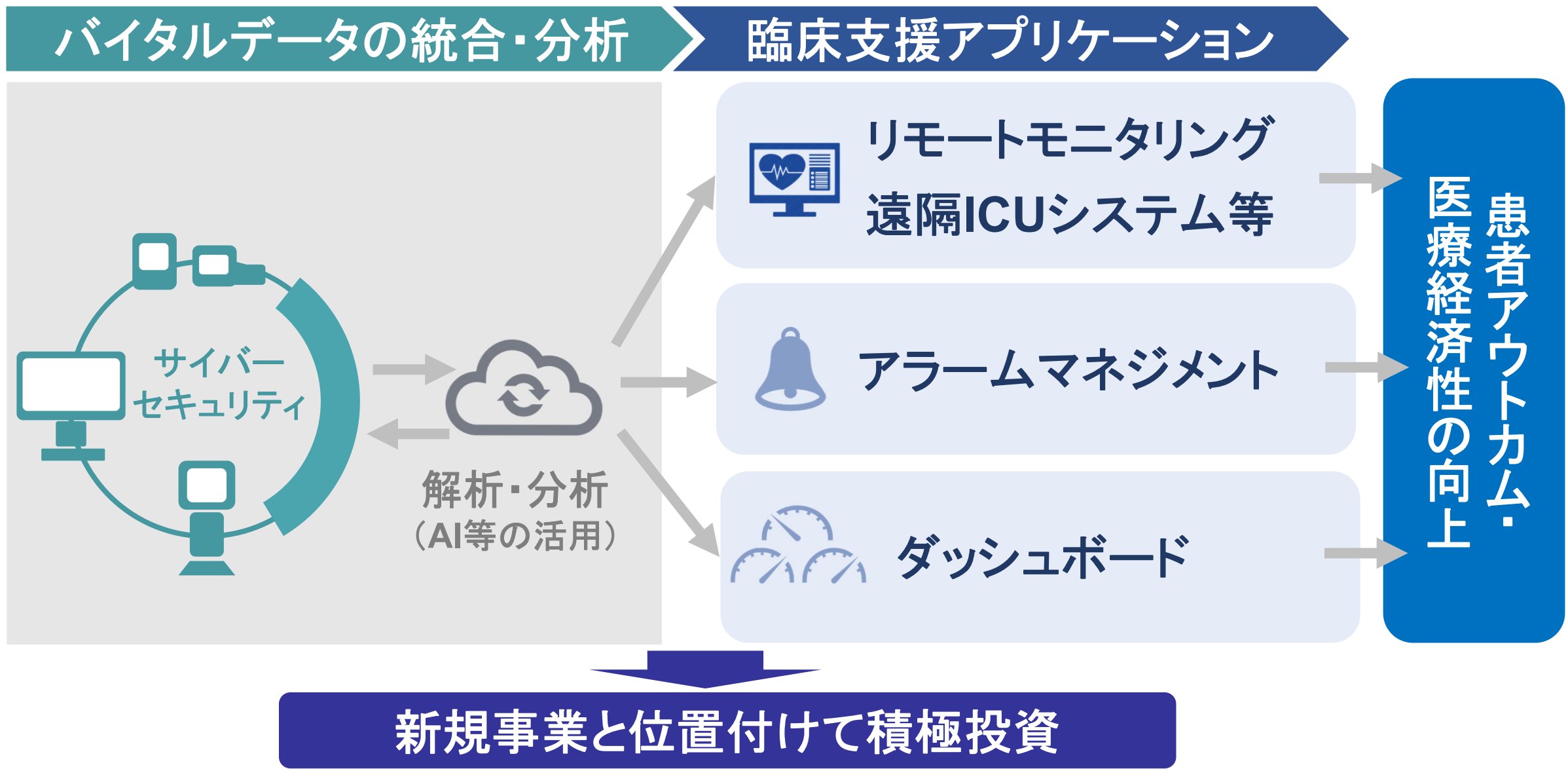
NEW!



2021年度発売



③ DHS(デジタルヘルスソリューション)構想の推進

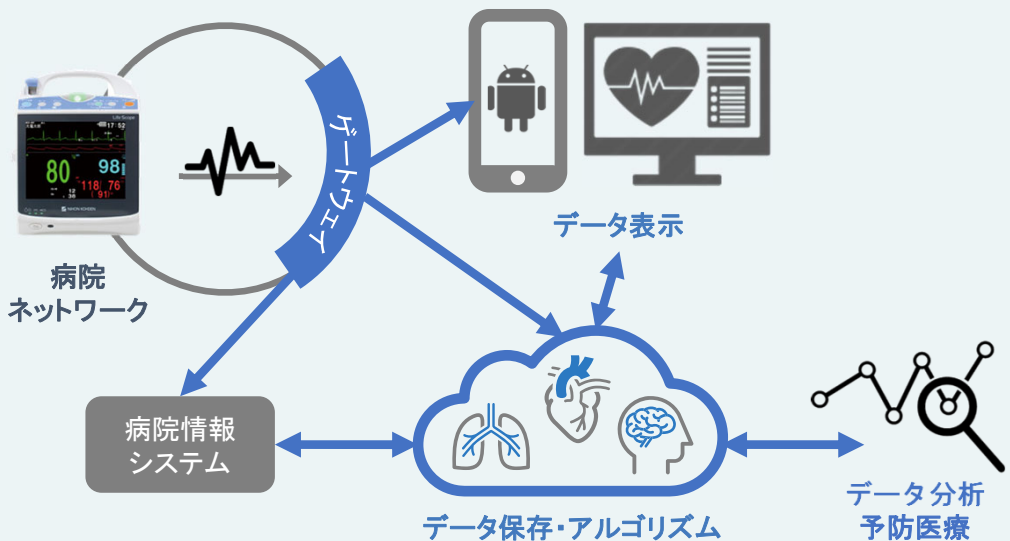


③ DHS構想の実現に向けた取り組み

バイタルデータの統合・分析 → 臨床支援アプリケーション

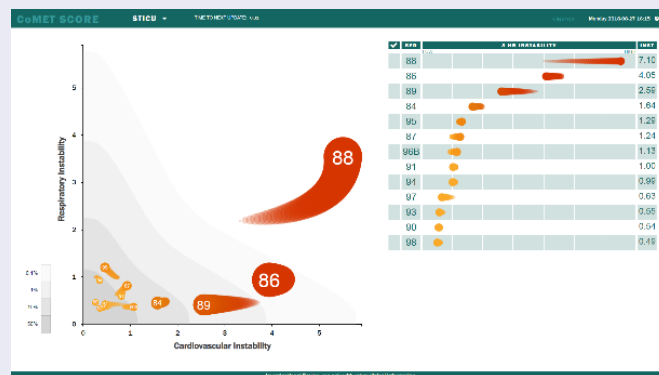
✓ データプラットフォームの
パイロット運用開始

NK Digital Health Platform



✓ 米国AMP3D社を買収
(アンプスリーディ)

患者容態管理のための
アルゴリズム・ソフトウェアの
研究開発



CoMET®: Continuous Monitoring of Event Trajectories

患者アウトカム・
医療経済性の向上

サステナビリティの推進

事業を通じて解決を目指す課題

アクセシブル・インテリジェント・患者視点・コネクテッド・最適化

AEDへのアクセス拡大による蘇生率の向上

医療機器の自動制御

アラーム高度化による静かな医療環境

遠隔監視を用いた製品稼働率向上

新興国の医療従事者への教育機会の提供

患者さんにやさしいセンサの開発・提供

心不全や脳疾患感染症ケアへの貢献

テレメディスンによる医療格差の解消



価値共創の源泉となるテクノロジー

ヒューマンマシン
インターフェース

IoT

AI

サイバー
セキュリティ

グリーン技術



企業活動を通じて解決を目指す課題

医療への貢献に
やりがいと誇りを持てる
組織風土の醸成

バリューチェーン
全体で
世界最高品質を追求

コンプライアンスの徹底と
グループガバナンスの
一層の強化

脱炭素社会の実現

人権・人財

品質

ガバナンス

環境




数値目標(KPI)を設定

マテリアリティ

KPI

事業を通じて 解決を目指す課題	アクセシブル	AEDへのアクセス拡大による蘇生率の向上	累計/年間グローバルAED販売台数 日本・米国におけるAED利用率
		新興国の医療従事者への教育機会の提供	インドネシアにおけるてんかん診療教育の推進 オンライン教育プログラムを含むセミナー開催回数、回数、受講者数
	インテリジェント	医療機器の自動制御	ロボット麻酔システムへの研究開発投資 人工呼吸器のクローズドループ制御への研究開発投資
		患者さんにやさしいセンサの開発・提供	新規センサへの研究開発投資 esCCO、導出18誘導心電図、iNIBP搭載機種販売台数
	患者視点	アラーム高度化による静かな医療環境	アラーム高精度検出技術への研究開発投資 アラームレポートの活用により運用が改善した医療機関数（日本・米国）
		心不全や脳疾患感染症ケアへの貢献	病状悪化の早期警告スコアへの研究開発投資 心不全ケアに向けた新規パラメータとアルゴリズムへの研究開発投資
	コネクテッド	遠隔監視を用いた製品稼働率向上	MD Linkage接続機種・台数 機器トラブルの事前通知件数
		テレメディスンによる医療格差の解消	LAVITA等ネットワーク対応型製品の設置台数 集中治療の遠隔支援実現に向けた研究開発投資
最適化			

 **AED**
販売台数: 35万台以上
(国内・海外、3年間累計)


✓ **国産初** **NEW!**
オートショックAED
2021年度発売




AUTO SHOCK
オートショック

MD Linkage
接続機種数: 7機種以上
接続台数: 5,000台以上
(国内・海外、3年間累計)

企業活動を通じて 解決を目指す課題	人権・人財	医療への貢献にやりがいと誇りを持てる組織風土の醸成	従業員満足度 グローバルに活躍できる人財の育成
	品質	バリューチェーン全体で世界最高品質を追求	ネットプロモータスコア リコール件数
	ガバナンス	コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化	グループ全体でのコンプライアンス・プログラムの運用確立と強化 グローバル経営管理ポリシーの確立と海外拠点への浸透 国内販売における内部統制システムの強化
	環境	脱炭素社会の実現	CO ₂ 排出量 環境配慮型製品の機種数、該当製品売上比率 製品・部品の廃棄量

 **CO₂ 排出量(売上原単位)**
2020年度比: 15.2%減
(2023年度)
※ ISO 14001適応範囲内のScope 1, 2

 **環境配慮型**
製品売上比率:
20%以上 (3年間累計)

経営目標値 2024年3月期

売上高	1,970億円
国内売上高	1,340億円
海外売上高 (海外売上高比率)	630億円 (32.0%)
消耗品・サービス売上高比率	48%以上
売上総利益率	50%以上
営業利益 (営業利益率)	200億円 (10.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	138億円
ROE	10%

地域別海外売上高

米州	320億円
欧州	100億円
アジア州他	210億円

3カ年計画

研究開発投資	200億円程度
設備投資	140億円程度

想定レート: 1米ドル=102円、1ユーロ=124円

粗利率50%以上、営業利益率10%以上を
定常的に生み出せる企業体質への変革を目指す

3

株主様への還元について

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

将来の企業成長 に向けた投資

- デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



配当

長期安定配当を
継続

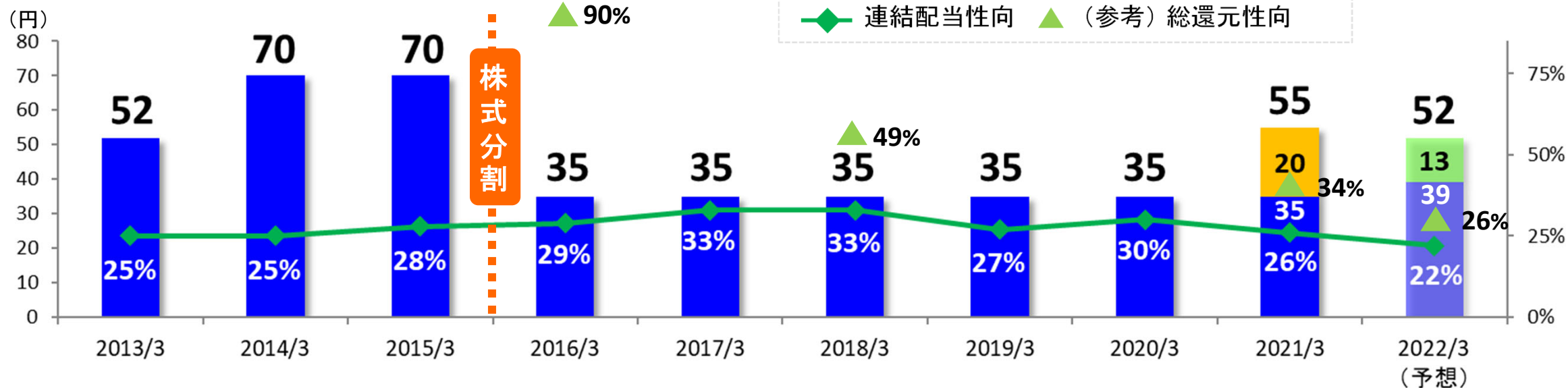
目標:連結配当性向
30%以上

自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に検討

株主様への還元

【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の株式分割を実施。2014年度までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載。

22/3期 配当
(予想)

年間配当金: **52円** (配当性向: 22.0%) (内訳)

普通配当 **39円**
70周年記念配当 **13円**



**自己株式の
取得状況**

2022/2/3
289,800株を取得
(総還元性向: 26.4%) (予定)

自己株式保有見込み:
430万株 (持株比率: 4.9%)

配当利回り: **1.7%**
(2月22日株価: 3,140円)

株式情報

“ESG評価”

✓ MSCI の指数に選定

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

“サステナビリティ格付け”

✓ ISS ESG Corporate Rating 「プライム」 に認定



“投資魅力の高い会社”

✓ 「JPX日経インデックス400」 に採用



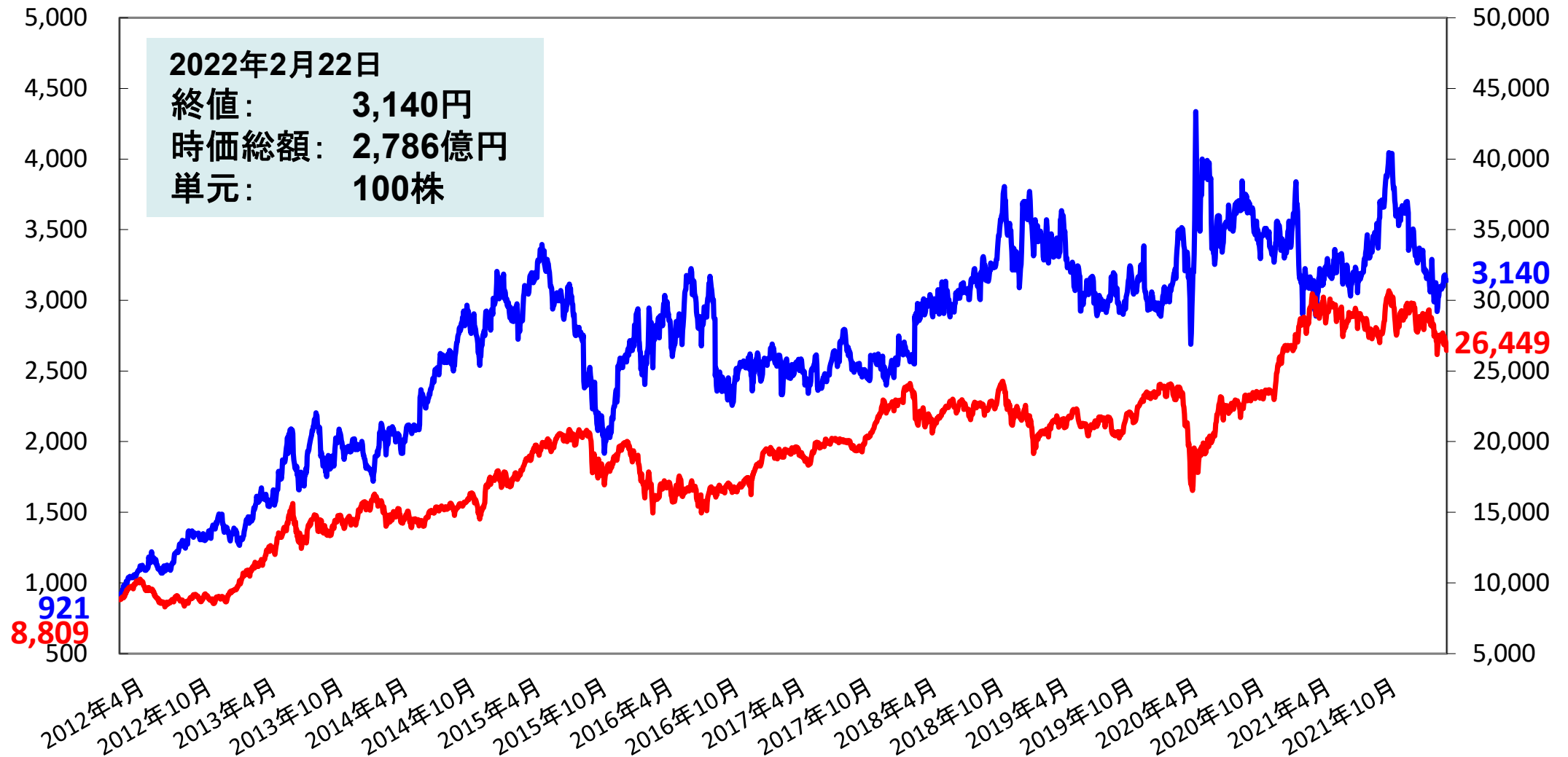
“グローバル企業”

✓ 東証 プライム市場 に移行予定 (2022年4月4日～)

株価推移 (2012年2月1日～2022年2月22日)

日本光電(円)

日経平均(円)



※ 2015年4月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の株式分割を実施。分割日以前の取引値についてもさかのぼって修正して記載。

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003